

グローバルX 米ドル建て投資適格社債ETF（468A）

1 商品等の内容（当社は、お客さまに上場有価証券の売買の取次ぎを行っています）

金融商品の名称・種類	グローバルX 米ドル建て投資適格社債ETF（468A）
組成会社（運用会社）	Global X Japan株式会社
金融商品の目的・機能	米国籍投資信託である「Global X Investment Grade Corporate Bond ETF」受益証券を主要投資対象とし、実質的に米ドル建ての投資適格社債へ投資を行います。米ドル建て投資適格社債は、クオンツ・ファクター・モデルおよび人工知能モデルにより算出されたスコアから運用担当者の裁量により組入銘柄および組入比率を決定します。為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
顧客利益最優先の運用会社のガバナンスの確保、プロダクトガバナンスの確保	<p>【経営・運用体制】運用会社では、運用部門（運用ソリューション部）がファンドの運用を統括します。運用責任者である運用ソリューション部長（経験年数20年以上）が議長となり、商品会議、運用会議（月1回）を開催し、運用方針を含む運用計画書を決定、定期的にパフォーマンスの検証を行い、運用の改善が必要なファンドの特定や運用方針の決定・変更を行います。ファンドマネージャーは、決定された運用計画書に基づいて運用を担当します。</p> <p>【検証体制】取締役会が定めた運用リスク等管理規定に基づき、運用部門から独立した部署（コンプライアンス部）および会議体（リスク管理委員会）において、ファンドの運用状況や運用リスクを継続的にモニタリングします。その結果を運用部門へフィードバックし、各ファンドが定められた運用方針に沿って適切に運用されているかを確認する体制を整えています。</p>
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	<p>当ETFは米ドル建て投資適格社債への投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行うアクティブ運用型ETFです。したがって、元本割れリスクを許容できる投資家を想定しております。投資に当たっては、当ETFの商品性、投資リスクに加え、アクティブ運用型ETFの以下の点にご留意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アクティブ運用型ETFが、従来のETFとは異なり、連動対象となる指標が存在しない商品であること ○ファンドにおける積極運用の結果、基準価額がベンチマークや相場全体の変動からでは説明できない動きする可能性があること ○管理会社等により日々開示されるポートフォリオ情報は、前日の基準価額算出の基礎となった情報でしかなく、当該情報から算出される一口当たり推定純資産額（インディカティブNAV）については、ETFの適正価格に常に一致するというわけではないこと
パッケージ化の有無	ETFを主要投資対象とするファンド・オブ・ファンズ（FoFs）です。投資先ファンドは個別に購入できません。
クーリング・オフの有無	金融商品取引法第37条6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

※ 上記内容の詳細は、組成会社が作成する「内国アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書」が参考となります。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

あなたの会社が提供する方針のうち、この商品が、私の知識、経験、財務状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。
この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2 リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	<p>当ETFに係るリスクは主に以下の通りです。（※以下に限定されるものではありません。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社債の市場価格の変動による影響を受けます。 ○投資先の債務不履行等の影響を受けます。 ○為替相場の変動による影響を受けます。 ○投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等による影響を受けます。 ○当ETFの市場価格は、取引所における取引を通じ、需給を反映して決まるため、必ずしも基準価額と一致するものではありません。
【参考】 過去1年間の収益率 市場価格ベース	表示に必要とする年間収益率データがありません。（2025年11月21日運用開始）
【参考】 過去5年間の収益率 市場価格ベース	表示に必要とする年間収益率データがありません。（2025年11月21日運用開始）

※ 投資リスクの内容の詳細は、目論見書のほか、組成会社が作成する「内国アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書」に記載しています。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

上記リスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
相対的にリスクが低い類似商品はあるのか、あればその商品について説明してほしい。

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	信託財産の純資産総額に対して年率0.1675%（税抜 0.165%）以内 その他の費用・手数料等がファンドから支払われますが、事前に料率・上限等を表示できません。 （2025年11月21日現在）
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。（2025年11月21日現在）

※ 購入時に支払う費用は、上場有価証券等書面に記載しています。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

私がこの商品に〇〇万円投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4 換金・解約の条件（本商品を換金する場合、一定の不利益を被ることがあります）

● この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還等により上場廃止される場合があります。

● この商品を売却する場合には、国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。

※ 本商品を換金する場合、一般的には、金融商品取引業者等を通じて、取引所市場で売却することになります。

※ 売却時に支払う費用は、上場有価証券等書面に記載しています。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

● 当社は、この商品の組成会社等との間に資本関係等の特別の関係はありません。

● 当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページをご参照ください。

<https://www.okasan.co.jp/conflict.html>



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。



6 租税の概要（NISA成長投資枠、NISAつみたて投資枠、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

● NISA制度の「成長投資枠」対象商品です。

● 料金は表に記載の時期に適用されます。以下の表は、個人投資家の源泉徴収時の税率であり、課税方法によりことなる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	普通分配金に対して、20.315%がかかります。
売却時 及び償還時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	換金（解約）時及び償還時に差益（譲渡益）に対して、20.315%がかかります。

7 その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

販売会社が作成した「上場有 価証券等書面」	https://www.okasan.co.jp/risk_fee.html#anc04 ※PDF形式で掲載しています。	
組成会社が作成した本商品に かかるウェブページ	https://globalxetfs.co.jp/funds/468A/index.html	

※ 組成会社が作成した「内国アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書」は東証上場会社情報サービス
<https://www.jpix.co.jp/listing/co-search/index.html>（証券コードで検索）→「基本情報」→「縦覧書類/PR情報」→「その他」欄
で閲覧できます。

https://www.wam.abic.co.jp/ap02rs/contents/pdf/E219528/doc/E219528_qa.pdf

